

就職白書2014 ーインターンシップ編ー

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷 智之）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、企業および学生のインターンシップの実施/参加の状況を明らかにするため、全国の新卒採用を実施している企業と、就職活動を行った2014年卒の大学4年生・大学院2年生を対象に、調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【2013年度のインターンシップの実施状況】〈企業〉

- 2013年度にインターンシップを実施した企業は43.5%と、2012年度の39.0%より4.5ポイント増加した。
- 実施期間を見ると、2012年度・2013年度・2014年度（予定）と年度を追うごとに「1週間以上2週間未満」の割合が減少し、「3日以上1週間未満」の割合が増加した。
- 実施目的について、前回調査では「学生の就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」がもっとも多く、次いで「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」であったが、今回調査では逆転した。
- 2013年度にインターンシップを実施した企業において、実施する際の苦勞や懸念点は、「社内協力者の巻き込み」がもっとも多く、次いで「プログラムの企画・設計」であった。

【2014年卒学生のインターンシップへの参加状況】〈学生〉

- インターンシップに参加した学生は23.9%と、2013年卒の17.4%よりも6.5ポイント増加した。
- 参加期間は「3日以上1週間未満」がもっとも多く、次いで「1日」であった。
- 参加目的は、「仕事理解」「業種理解」「企業・職場の雰囲気を知る」の順で多かった。
- インターンシップ先を選ぶ際に重視したことは、「業種」「インターン内容」「職種」の順で高かった。
- インターンシップ参加学生の60.7%は、参加してよかったと思う点として「仕事内容を具体的に知ることができた」を選択した。
- インターンシップ参加学生の34.1%が、交通費の支給があった。
- インターンシップ参加学生の16.2%が、インターンシップ参加企業に入社する予定である。参加企業ではないが同業種の企業に入社する予定の25.5%と合わせると、インターンシップ参加学生の41.7%が、インターンシップに参加した業種に就職する予定となった。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 広報グループ宛
Mail: kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要	2
I. 2013年度のインターンシップの実施状況<企業>	3~5
1) 実施状況/前年度からの変更状況	3
2) 実施対象/実施期間	4
3) 実施目的/実施における苦労や懸念点	5
II. 2014年卒の学生のインターンシップへの参加状況<学生>	6~8
1) 参加状況/参加社数/参加期間	6
2) 参加目的/参加しなかった理由/インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと/参加してよかったと思う点	7
3) インターンシップでの報酬等の支給状況	8
4) インターンシップ参加企業への入社予定状況	8

【調査概要】

今回調査：就職白書2014

【企業調査】2014年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：郵送法

調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,303社

調査期間：2013年12月11日～2014年1月31日

回収社数：1,332社（回収率31.0%）

【学生調査】2014年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：WEBアンケート

—調査協力：株式会社クロス・マーケティング

調査対象：クロス・マーケティング社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女8,672人を対象にした

調査期間：2014年1月6日～2014年1月19日

集計対象：1,610人（回収率18.6%）

前回調査：就職白書2013

【企業調査】2013年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：郵送法

調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,340社

調査期間：2012年12月3日～2013年1月21日

回収社数：1,082社（回収率24.9%）

【学生調査】2013年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：WEBアンケート

—調査協力：株式会社クロス・マーケティング

調査対象：クロス・マーケティング社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女2,433人を対象にした

調査期間：2013年1月8日～2013年1月15日

集計対象：1,645人（回収率67.6%）

※大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体の構成比が実際の母集団に近づくよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。大学生と大学院生を合わせた学生全体については、大学生と大学院生の構成比に関して、同様のウェイトバック集計を行ったため、大学生と大学院生の合計値が、学生全体の値と一致しない。

《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある
- 図表の一部で、今回調査と前回調査のポイント差をカッコ内に記載した
例：14.2%（-6.7）の場合、前回調査より6.7ポイント減少

《地域区分の内訳（P3、P6、P8で使用）》

関東＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部＝新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿＝三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外

《その他》

- 年度は、4月から翌年3月までとしている

1) 実施状況/前年度からの変更状況

2013年度にインターンシップを実施した企業は43.5%と、2012年度の39.0%より4.5ポイント増加した。
従業員規模別に見ると、すべての規模において、2012年度よりも実施企業が増加した。
特に5000人以上企業は、前年度の61.5%から10ポイント以上増え、74.4%となった。

■インターンシップの実施状況(全体/単一回答)

	実施状況 (%)	
	実施	未実施
●凡例		
2013年度 (N=1271)	43.5	56.5
2012年度 (N=1278)	39.0	61.0

※今回調査の、2012年度および2013年度に関する回答結果を集計
※2013年度は、調査時点以降の予定を含めた回答

□従業員規模および業種、地域別インターンシップの実施状況

		2013年度		2012年度	
		N	実施率	N	実施率
全体		1271	43.5 %	1278	39.0 %
従業員規模	300人未満	281	31.3 %	285	27.0 %
	300~999人	409	36.7 %	411	34.5 %
	1000~4999人	358	50.0 %	358	45.5 %
	5000人以上	90	74.4 %	91	61.5 %
業種	建設業	87	48.3 %	87	48.3 %
	製造業	415	43.1 %	419	38.7 %
	流通業	241	42.7 %	241	38.2 %
	金融業	138	51.4 %	140	47.1 %
	サービス・情報業	330	38.8 %	331	34.1 %
地域	関東	558	38.5 %	559	34.3 %
	中部	244	48.8 %	246	43.9 %
	近畿	213	40.8 %	214	36.0 %
	その他地域・計	256	51.6 %	259	46.7 %

2013年度のインターンシップ実施企業において、2012年度からの変更状況を見ると、「受け入れ人数」「期間」「対象者」「内容」のいずれも前年度と「同じ」がもっとも多かった。
従業員規模別に見ると、1000人以上企業は1000人未満企業に比べて、「受け入れ人数」を「増やした」、「内容」を「変更した」企業が、それぞれ多かった。

■2012年度と比べた2013年度のインターンシップの変更状況 (インターンシップ実施企業[実施予定含む]/それぞれ単一回答)

		【受け入れ人数】 (%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
全体	(N=473)	28.5	63.8	7.6
1000人未満	(N=206)	24.3	69.9	5.8
1000人以上	(N=212)	31.1	60.4	8.5

		【対象者】 (%)		
		広げた	同じ	絞った
●凡例				
全体	(N=475)	17.3	78.1	4.6
1000人未満	(N=207)	15.5	79.7	4.8
1000人以上	(N=213)	17.8	77.5	4.7

		【期間】 (%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
全体	(N=475)	10.7	86.1	3.2
1000人未満	(N=207)	8.2	87.4	4.3
1000人以上	(N=213)	12.2	85.4	2.3

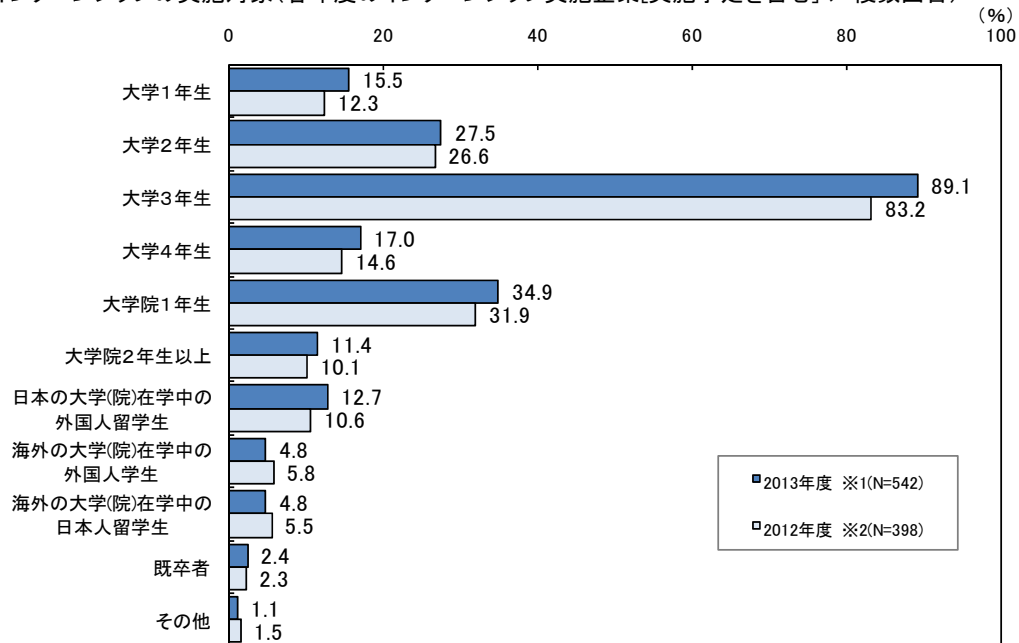
		【内容】 (%)	
		変更した	同じ
●凡例			
全体	(N=473)	22.4	77.6
1000人未満	(N=207)	18.8	81.2
1000人以上	(N=211)	26.1	73.9

※データは無回答サンプルを除いて集計
※従業員規模や業種の不明・無回答企業があるため、規模別や業種別の計と全体は一致しない

2) 実施対象/実施期間

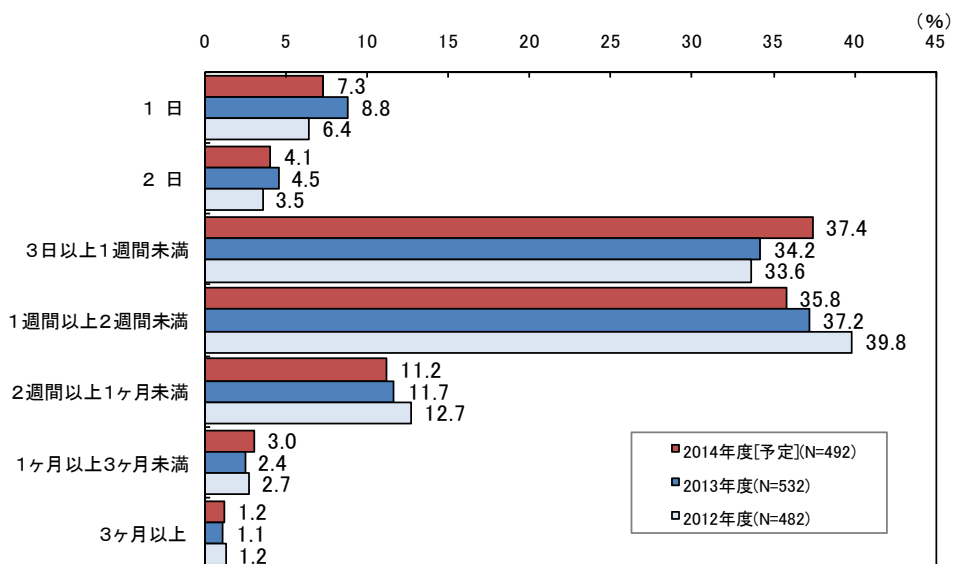
2013年度のインターンシップの実施対象は、「大学3年生」が89.1%と突出して多かった。実施期間を見ると、2012年度・2013年度・2014年度（予定）と年度を追うごとに「1週間以上2週間未満」の割合が減少し、「3日以上1週間未満」の割合が増加した。

■ インターンシップの実施対象（各年度のインターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）



※1 2013年度は、今回調査における2013年度実施企業
 ※2 2012年度は、前回調査における2012年度実施企業

■ インターンシップの実施期間（各年度のインターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 各年度単一回答）



※今回調査の、2012年度および2013年度、2014年度に関する回答結果を集計
 ※2013年度および2014年度は、調査時点以降の予定を含めた回答

※データは無回答サンプルを除いて集計

3) 実施目的／実施における苦労や懸念点

インターンシップ実施目的を見ると、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」がもっとも多く、次に「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」が多かった。

前回調査では、「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」がもっとも多く、次いで「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」であったが、今回調査では逆転した。

■ インターンシップの実施目的(インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答)

N	(%)		
	今回調査 569	前回調査 430	今回-前回 差
仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる	78.2	71.9	6.3
学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する	74.9	72.6	2.3
採用を意識し、学生のスキルを見極める	31.1	24.2	6.9
将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる	30.4	23.7	6.7
定型業務・プロジェクト等を明示し、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す	13.0	10.9	2.1
従来の採用とは異なるタイプの学生を見出す	7.2	4.2	3.0
その他	3.9	5.3	-1.5
特に目的を設定していない	1.1		

※「特に目的を設定していない」は、今回調査により追加

2013年度にインターンシップを実施(予定も含む)した企業において、実施する際の苦労や懸念点は、「社内協力者の巻き込み」がもっとも多く、次いで「プログラムの企画・設計」であった。

従業員規模別で見ると、5000人以上企業では「プログラムの企画・設計」が80.6%と、もっとも多かった。

■ インターンシップを実施する際の苦労や懸念点 (インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答)

N		(%)									
		社内協力者の巻き込み	プログラムの企画・設計	運営上の事前手配	プログラムの実施	参加者の募集・選考	事務手続き	プログラム終了後のフォロー	その他	特にない	
全体		566	75.1	70.5	38.5	36.0	29.0	24.9	21.4	0.7	6.7
従業員規模	300人未満	88	70.5	64.8	27.3	34.1	10.2	14.8	15.9	—	8.0
	300~999人	161	75.8	68.3	36.6	34.2	23.0	18.0	16.8	0.6	7.5
	1000~4999人	181	72.9	70.2	44.2	31.5	37.0	30.4	22.7	0.6	8.3
	5000人以上	67	76.1	80.6	46.3	46.3	46.3	38.8	31.3	—	4.5

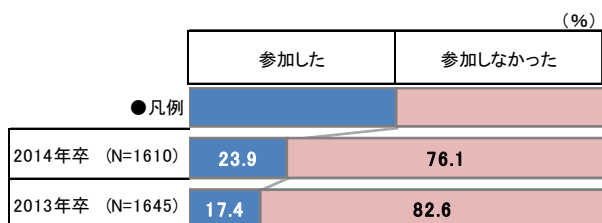
※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

1) 参加状況/参加社数/参加期間

2014年卒の学生のうち、インターンシップ参加者は23.9%と、2013年卒よりも6.5ポイント増加した。インターンシップ参加社数は、「1社」が69.2%でもっとも多く、平均社数は1.64社であった。インターンシップ参加期間は、「3日以上1週間未満」がもっとも多く、次いで「1日」であった。

■ インターンシップへの参加状況(学生全体/単一回答)



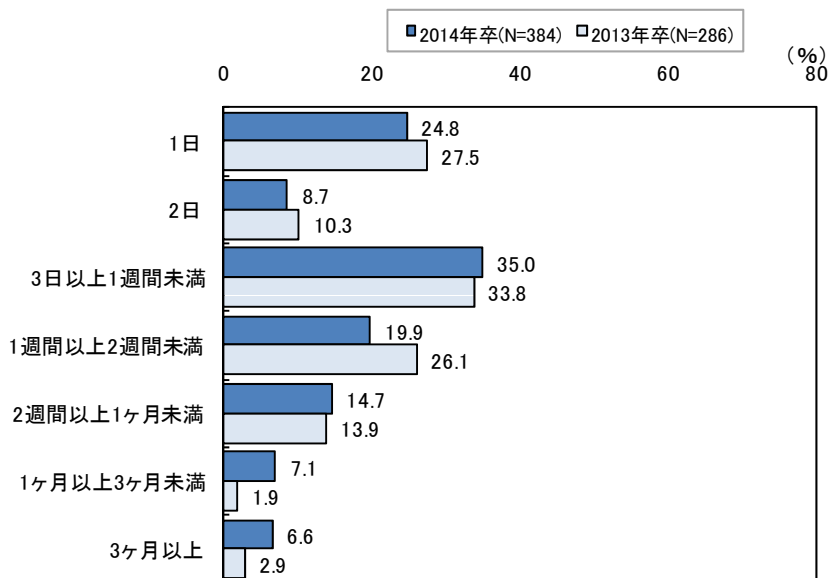
□ 学校種および文理、地域別のインターンシップへの参加状況

学校種	N=今回/前回	参加状況 (%)	
		参加した	参加しなかった
大学生	文系 843/856	22.8 (5.4)	77.2 (-5.4)
	理系 411/412	23.5 (7.5)	76.5 (-7.5)
	関東 588/563	23.9 (5.4)	76.1 (-5.4)
	中部 139/178	23.9 (8.6)	76.1 (-8.6)
	近畿 274/260	20.0 (5.4)	80.0 (-5.4)
	その他地域・計 254/267	23.6 (6.5)	76.4 (-6.5)
大学院生	文系 51/70	19.6 (5.3)	80.4 (-5.3)
	理系 305/303	32.5 (10.7)	67.5 (-10.7)
	関東 120/126	29.2 (8.6)	70.8 (-8.6)
	中部 53/55	35.8 (12.2)	64.2 (-12.2)
	近畿 77/83	32.5 (14.4)	67.5 (-14.4)
	その他地域・計 106/109	28.3 (8.1)	71.7 (-8.1)

■ インターンシップの参加社数の内訳(インターンシップ参加者/単一回答)

年次	N	参加社数 (%)						平均社数
		1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	
2014年卒	384	69.2	15.6	9.7	1.2	2.1	2.0	1.64社
2013年卒	286	67.4	16.6	7.5	1.3	5.1	2.0	1.74社

■ インターンシップの参加期間 (インターンシップ参加者/複数回答)



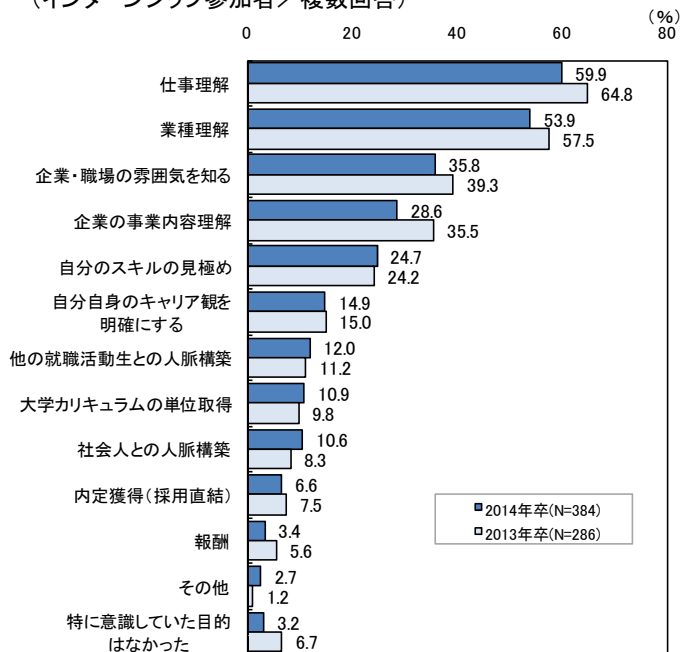
※カッコ内の数値は前回調査との差

2) 参加目的/参加しなかった理由/インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと/参加してよかったと思う点

2014年卒のインターンシップ参加目的は、「仕事理解」「業種理解」「企業・職場の雰囲気を知る」の順で多かった。インターンシップに参加しなかった学生の理由を見ると、「インターンシップの内容に魅力を感じなかった」がもっとも多く、次いで「採用選考上有利になると思わなかった」「実施時期や時間が、自分の予定と合わなかった」となった。

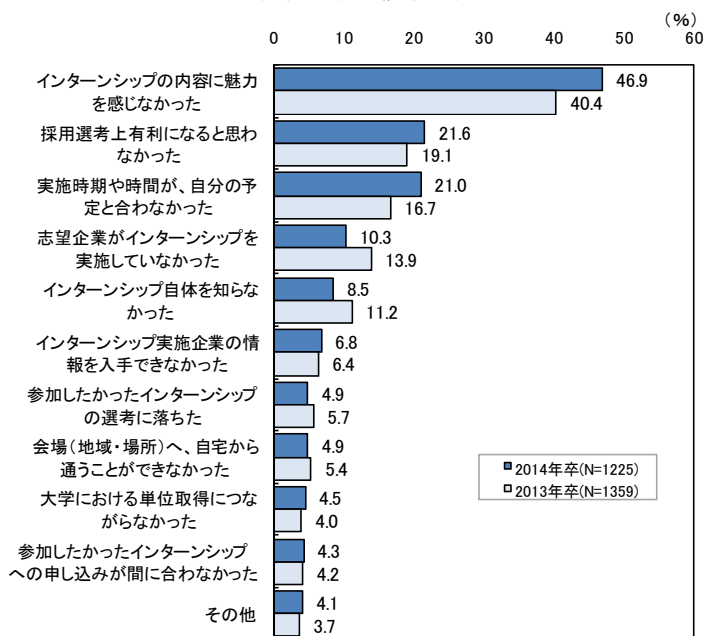
■ インターンシップの参加目的

(インターンシップ参加者/複数回答)



■ インターンシップに参加しなかった理由

(インターンシップ非参加者/複数回答)

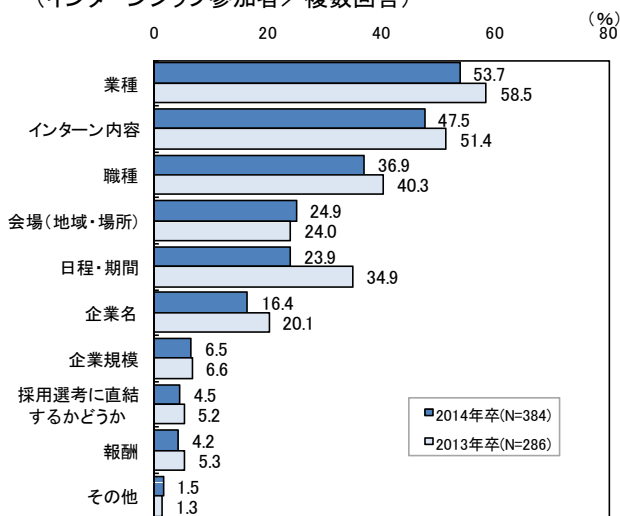


インターンシップ先を選ぶ際に重視したことを見ると、「業種」がもっとも多く、「インターン内容」「職種」と続き、この傾向は、2013年卒と変わらなかった。

参加してよかったと思う点は、「仕事内容を具体的に知ることができた」がもっとも多く、「業種について具体的に知ることができた」「企業・職場の雰囲気を知ることができた」が続いた。

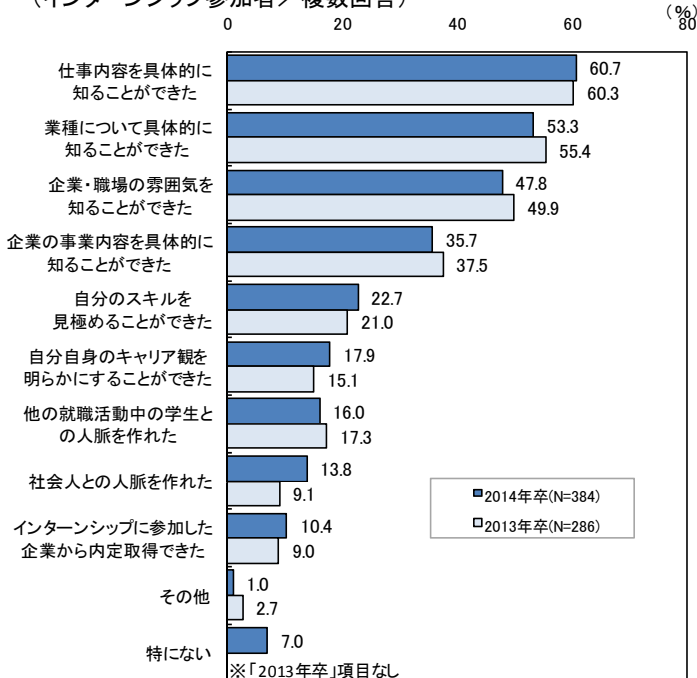
■ インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと

(インターンシップ参加者/複数回答)



■ インターンシップに参加してよかったと思う点

(インターンシップ参加者/複数回答)



3) インターンシップでの報酬等の支給状況

参加したインターンシップでの、交通費などの支給状況を見ると、34.1%が「交通費」の支給があった。一方、「宿泊費または宿泊施設の無償提供」や「報酬（交通費、宿泊費を除く）」は、それぞれ14.7%、17.1%であった。

■ インターンシップでの報酬等の支給状況（インターンシップ参加者／それぞれ単一回答）

		(%)		
		はい	いいえ	わからない
●凡例				
交通費	N=384	34.1	64.3	1.6
宿泊費または宿泊施設の無償提供	N=384	14.7	81.6	3.7
報酬（交通費、宿泊費を除く）	N=384	17.1	80.8	2.1

□ 地域別のインターンシップでの報酬等の支給状況

		交通費			宿泊費または宿泊施設の無償提供			報酬（交通費、宿泊費を除く）		
*は参考値 N		はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
全体 384		34.1	64.3	1.6	14.7	81.6	3.7	17.1	80.8	2.1
地域	関東 178	35.6	61.4	3.0	11.2	84.1	4.8	19.9	77.7	2.4
	中部 *47	30.6	69.4	—	18.4	80.5	1.1	19.5	75.4	5.2
	近畿 75	27.8	71.5	0.8	10.1	85.7	4.2	12.7	87.3	—
	その他地域・計 84	38.8	61.2	—	24.2	73.1	2.6	13.7	84.7	1.6

4) インターンシップ参加企業への入社予定状況

インターンシップ参加学生の16.2%が、インターンシップ参加企業に入社する予定である。参加企業ではないが同業種の企業に入社する予定の25.5%と合わせると、インターンシップ参加学生の41.7%が、インターンシップに参加した業種に就職する予定となった。

■ インターンシップ参加企業への入社予定状況（インターンシップ参加者／単一回答）

		(%)			
		インターンシップ参加企業に入社する予定	インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定	まったく異なる業種の企業に入社する予定	その他
●凡例					
2014年卒	N=335	16.2	25.5	58.2	0.2
2013年卒	N=229	12.3	24.7	62.7	0.2